

被災森林所有者の意向調査の実施状況

胆振総合振興局森林室普及課

1 実施時期 平成30年10月～令和3年2月

2 実施状況

- 被災森林所有者377名（厚真町、むかわ町、安平町、苫小牧市、森林組合を除く）のうち、一定規模以上の森林（保安林等制限林を除く1ha以上）を所有する346名を対象に調査を実施。
- 管内所有者は森林室普及課、道内不在村者にあつては最寄りの森林室で対応。道外不在村者については直接訪問することが困難なため、関係資料を送付して対応。

（令和3年2月28日現在）

区分	対応者数	備考
調査・確認等実施	304	
面談による実施	221	
資料配付による実施	62	道外不在村含む
訪問不要の回答	18	所有者の意向等により訪問不要
大規模社有林	3	自社で管理することを確認
所在不明	38	
原野商法による分譲地	4	連絡先不明のため調査対象から除外
合計	346	

3 調査結果

- 訪問等により所有林の今後の管理経営の考え方を確認できた304名の結果は次のとおり。

今後の森林施業等の考え方		意見・意向内容（複数回答）
継続して管理	209人（69%）	林道・作業道の早期復旧を希望
		事業説明、懇談会を希望
		崩壊地に植林、緑化を希望
		復旧にかかる負担はできない
未定・保留	68人（22%）	現段階は生活の立て直し等を優先し、所有林までは未定
売却を検討	27人（9%）	

※未定・保留には、資料配付において回答のない方のほか、面談において「まだ考えられない」という意見があった方を含む。

4 今後の対応

- これまで、被災状況の説明と今後の経営管理に対する意向調査を行い、被災森林所有者の意向を概ね把握することが出来た。
- 今後は「胆振東部地震被災森林復旧指針」に基づく現地調査を行い、実施計画を作成するとともに、調査結果を踏まえた具体的な施業提案を実施し、森林整備に繋げていくこととする。